

文末が「知っている」→0⇒1：知らない 1⇒2：聞いたことがある ~~2：だいたい知っている~~ 3：知っている
 文末が「できる」→ 0：未経験 1：できない 2：指導があればできる 3：一人できる

		0ヶ月	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
9	蛇管内への水の貯留が危険である理由を知っている				65.9	64.6
10	気道内圧が低下した場合、カフの破損等原因があると知っている				76.7	53.4
11	気道内圧が亢進した場合、喀痰の貯留の可能性があると知っている				84.2	61.0
C. 人工呼吸器装着中の患者の安全な管理ができる						
1	使用している患者がなぜ人工呼吸器を使用するのか確認している				61.9	40.0
2	人工呼吸器使用時電源は、無停電コンセントに接続できる				68.0	61.2
3	人工呼吸器使用時電源が入っていることを確認している				65.3	55.8
4	体交時など気管チューブが伸展し抜去しないよう管理ができる				68.7	49.7
5	蛇管内に水が貯留していないか確認している				65.3	53.1
6	口腔ケア、チューブの再固定は2名で行っている				54.5	41.4
7	喀痰吸引や回路交換前後で、気道内圧等確認する必要性を知っている				68.7	49.7
8	喀痰吸引や回路交換前後、気道内圧・換気量等確認している				57.8	45.6
9	喀痰吸引や回路交換後、患者の呼吸状態を確認している				59.2	49.0
10	気管チューブの患者による自己抜去のリスクを知っている				82.9	63.0
D. 人工呼吸器のアラームの管理ができる						
1	アラームの設定と確認ができる				57.9	35.9
2	アラームがどのような状況下で作動するか知っている				72.4	44.1
3	緊急度の高いアラーム作動について知っている				57.1	33.3
4	アラームの見方、対処方法がわかる				61.0	32.9
5	アラームを一時切断了場合、復帰後アラームの設定の確認の必要性を知っている				71.0	51.7
6	アラームの意味が分からないまま、アラームを切断了り無視したりする危険性を 知っている				80.1	67.8

《ドレーン編》

X. ドレーンの取り扱いが安全にできる

A. ドレーンの安全な管理ができる		0ヶ月	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
1	ドレーンの挿入部位とドレナージの仕組みがわかる				79.2	35.4
2	ドレーンの整理を行い、接続の緩みはずれなどを確認できる				78.8	54.1
3	患者の意識状態、体交・移動を考えたドレーンの固定と整理ができる				75.2	50.3
4	胸腔ドレーンのウォーターシールの意味がわかる				55.9	39.3
5	胸腔ドレーンのウォーターシールに指示量の水が入っていることが確認できる				57.9	42.8
6	胸腔ドレーンの接続が外れたときの危険性を知っている				62.3	41.1
7	air リークがわかる				60.0	38.6
8	胸腔ドレーンの廃液バックの交換を行うときに吸気時にクランプできる				41.3	25.2
9	排液バックの交換後、ドレーンのクランプを解除し、呼吸状態を観察できる				46.5	27.1

《救急蘇生カート編》

XI. 救急蘇生カートの取り扱いができる

H19年度1年後に「3」の割合
(左隣は「3+2」の割合)

A. 救急蘇生カートの取り扱いに関する知識がある						
1	救急蘇生カートの保管場所がわかる					93.9
2	救急蘇生カート運用基準を知っている				62.1	34.5
3	救急蘇生カート内の薬品・物品一覧表に沿って点検ができる				85.7	72.8
4	救急蘇生カート内の薬品(ファーストライン薬品)、物品の名前と使用目的を知っている				71.9	27.4